

小中連携推進教員育成研修部会 検討状況

1 小中連携推進教員育成研修部会 開催状況

第1回 平成25年12月9日

第2回 平成26年1月8日

第3回 平成26年2月24日

第4回 平成26年5月19日

2 主な検討事項

(1) 小中連携推進教員(連携クリエイター)の役割

小中一貫教育を推進していくために、学校として、いつ、どんなことを決めていけばよいのかを一覧にした「(仮称)小中一貫教育進行チェック表」(案:別紙参照)の作成について検討中。

(2) 連携クリエイターとして育成したい力

連携クリエイターが受けた研修の希望調査結果を参照しながら、連携クリエイター研修項目(案:別紙参照)を検討中。それぞれの研修項目について、研修プログラムを検討し、研修マニュアルを作成する予定。

(3) 連携クリエイター研修計画

全小・中学校の連携クリエイターを対象とした「連携クリエイター研修」および小中一貫教育研究グループ・実践校・連携校の連携クリエイター等を対象とした「連絡会」の実施状況をみながら、改善すべき点を検討し、平成27年度の年間研修計画(連絡会を含む)を検討していく。

(仮称)小中一貫教育 進行チェック表 (例)

研究の初期段階に実施すること【関係校の管理職と協議】

1～3月 小中合同推進組織と取組の柱の決定

合同推進組織の設置

- A 校長連絡会 - 校長・副校長・教務主任・クリエイター連絡会 - 部会
- B 校長・副校長・教務主任・クリエイター連絡会 - 拡大委員会 - 部会
- C 校長・副校長・教務主任・クリエイター連絡会 - チーフ会 - 部会
- D 校長・副校長・教務主任・クリエイター連絡会 - 全体会 - 部会
- E その他



1～3月 取組の柱と部会の決定

中学校区(グループ)の課題を抽出し、取組の柱を協議

取組の柱に応じた部会の設置を決定

前年度末までに実施すること

10月～3月 年間計画の作成

次年度の年間計画(案)の交換

小中の年間計画に行事日程・研究日程を位置づける

・推進会議

・小中合同研修会・研究授業

・小中交流事業など

・中学校区別協議会

中学校区別協議会と小中一貫教育研究全体会を兼ねる場合は、研究グループに属していない関係校との調整が必要。

前年度末～年度初めに実施すること

3～4月 課題改善カリキュラム作成教科の決定

課題改善カリキュラム作成メンバー(部会員)の選任

課題改善カリキュラム作成スケジュールは部会に任せる

年度初めに課題改善カリキュラム作成スケジュールを協議・報告してもらう

4月 部会メンバーの決定

全教員がいずれかの部会の所属することが望ましい

部会のリーダーおよび学校ごとにサブリーダーを決めておくと進行がスムーズになる

4月 小中全体会の開催(部会員の顔合わせ)

<年度当初の会議で決めること>

ア 推進会議の日程・会場校確認

推進会議における検討事項の協議

推進会議における役割を確認(資料作成の分担)

イ 合同研修会・小中全体会の日程・会場校の確認

研修テーマ、研修講師の選定

研修会における役割を確認(講師依頼、資料作成等の分担)

ウ 小中合同研究授業の日程・授業者の確認

参加者の確認(全員参加か一部参加か)

学習指導案の小中・小小事前協議は分科会に任せる

エ 小中交流事業等の日程・取組内容の確認

小中の取組担当者(分科会)を決める

取組実施に向けた具体的な協議は担当者(分科会)に任せる

4～5月 中学校区別協議会の計画【関係校の管理職と協議】

日程、会場校の確認

授業公開の有無、分科会テーマ、進行(校内案)の検討

中学校区別協議会の担当者を決める(生活指導主任または連携クリエイター)

年間の取組

- 年3～6回 推進会議の開催
推進会議の準備(検討事項、資料作成など)
推進会議の司会進行・記録
- 年 回 合同研修会・小中全体会の開催
<部会に任せること、連携クリエイターが行うことの確認>
研修講師の依頼、報償費の申請(外部講師の場合)
校内の周知(C4th掲示板への掲示、研究だよりの発行など)
次第作成、会場準備、司会・記録担当の依頼
アンケートの実施、まとめ
課題改善カリキュラムの検討<部会に任せる>
部会の開催(課題改善カリキュラムの作成)
課題改善カリキュラム実践・検証授業
課題改善カリキュラムの提出(教育課程届の補助資料)
課題改善カリキュラムの評価検証
- 年 回 小中合同研究授業の実施
<部会に任せること、連携クリエイターが行うことの確認>
研修講師の依頼、報償費の申請(外部講師の場合)
校内の周知(C4th掲示板への掲示、研究だよりの発行など)
学習指導案の印刷配布
アンケートの実施、まとめ
- 年 回 小中交流事業等の実施
<担当者に任せること、連携クリエイターが行うことの確認>
取組内容の提案書作成(実施場所、開催日時、目的、参加者など)
取組内容に関する校内協議(教務主任、研究主任、管理職等)
取組内容に関する相手校との協議
保護者への周知(特に児童・生徒が参加する場合)
取組当日の進行管理
- 年2回 中学校区別協議会の開催
中学校区別協議会計画書の作成・提出
次第作成、会場準備、司会・記録担当の依頼
記録集約、中学校区別協議会報告書の作成・提出
取組に参加した児童・生徒・保護者アンケートの実施依頼
- 随時 周知・広報活動
C4th・たより・職員会議での報告等による自校教職員への周知
学校だより等による保護者・地域に対する周知
小中一貫教育を進める環境づくり
懇親会、スポーツ大会などの企画

年度末に実施すること

- 11月～3月 次年度の年間計画の作成
次年度の年間計画(案)の交換
小中合同行事、合同研修会・研究授業、推進会議などの日程を決定
- 2～3月 小中一貫教育の取組に対する評価・改善策の検討
まとめの教員アンケートの実施
アンケート結果から改善策の検討
次年度の取組の柱を協議
取組の柱に応じた部会の設置を決定

連携クリエイター研修項目(案)

		研修項目	26年度(予定)	希望順位
全 教 員 に 必 要 な 基 礎 的 な 力	小中一貫教育の 理解	義務教育制度に関する国の動き		
		練馬区における小中一貫教育の考 え方・めざすもの	第1回 26研究グループ連絡会	12
		小中一貫教育の実践例		1
	教育課程の理解	9年間を見通した教育課程	第1回 連携クリエイター研修	2
		学習指導要領の理解	第1回 連携クリエイター研修	
		カリキュラムマネジメント		
	児童・生徒理解	発達段階の理解	第1回 連携クリエイター研修	8
		児童観・生徒観の違い	第1回 連携クリエイター研修	5
	指導に関する相互 理解	評価観の相互理解	第1回 連携クリエイター研修	10
		指導観の相互理解	第1回 連携クリエイター研修	7
組 織 運 営 を 行 う 力	コーディネート力の 向上	小中合同会議の進め方	第2回 連携クリエイター研修	
		校務支援システムを活用した情報交換・ 合意形成の進め方		
		レクリエーションリーダー、チームビル ディング		
	プレゼンテーション、説明・説得力			
保護者・地域との 連携、情報発信力 の向上	小中一貫教育だより作成			
小 中 一 貫 教 育 の 実 践 を 作 り 出 す 力	校区の実態把握と 課題分析	問題解決技法(ブレインストーミング、 カード式整理法など)	第2回 連携クリエイター研修	10
	教科指導の工夫	課題改善カリキュラムの作成	第1回 26研究グループ連絡会 第2回 研究グループ実践校連絡会	2
		課題改善カリキュラムの実践・検証	第1回 実践校連絡会 第2回 研究グループ実践校連絡会	6
		小中合同研究授業の工夫	第2回 研究グループ実践校連絡会	4
	成果の検証・分析	学校評価を活用した小中一貫教育の検 証	第1回 実践校連絡会	
		取組の評価方法	第2回 連携クリエイター研修	
		効果的なアンケート作成と分析		9